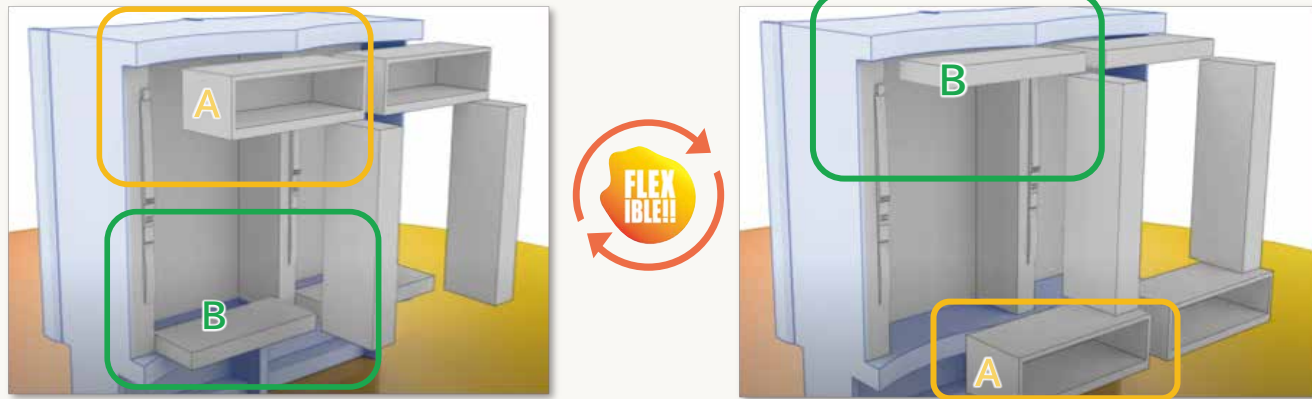
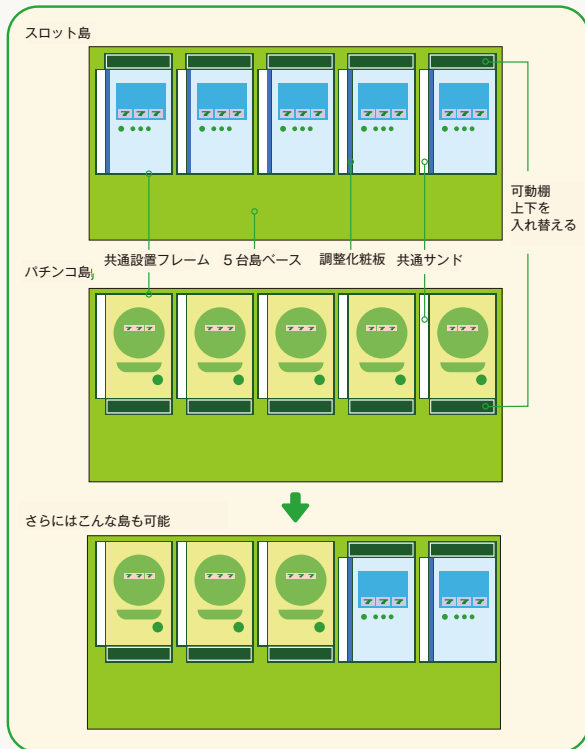


スマパチ⇄スマスロ切替構造



アタッチメント2種(図中のA、B)を組み替えることで、スマパチ⇄スマスロの切り替えを簡単に行える。

スマパチ⇄スマスロ切替イメージ



プライベートブースにも対応



『FLEXIBLE』を使えば、自分専用の遊技空間を創出可能。若年層や女性客の取り込みに大きな効果を発揮する。

特許取得の椅子ベースプレートで楽々調整



特許第6362296号

椅子ベースプレート

椅子ベースプレートを使用すれば、切り替えの際にアンカーの打ち直しは不要。

単島設置にも対応で特別な遊技空間を創出

そして『FLEXIBLE』は単島での設置も可能。これを活用した「プライベートブース」として提案している。

子を固定している関係で、業者による作業を要し、工期とコストが掛かるが、「椅子ベースプレート」を導入することで、椅子の位置を簡単に調整することが可能。結果、短工期・低コストでの切り替えを実現している。

プライベートブースでは、ワイドモニターやサイドテーブル、

衣装ハンガー、高品質チェアなどを設置したラグジュアリーな遊技空間を創出。自分専用の空間で特別な遊技体験を提供できる。若年層や女性客の取り込みや、競合店との差別化などに大きな力を発揮すること間違いなし。想像以上の効果から導入店から高評価続出中とのことだ。

ホールが望むあれもこれもを全て叶える『FLEXIBLE』。是非とも導入を検討してほしい。

ホールのあれもこれもを叶える互換島

2022年にリリースし、スマート遊技機島の未来をいち早く切り拓いた『FLEXIBLE』。導入店舗数も増え続けている。



スマート遊技機の登場で、遊技環境は大きく変化した。それに合わせるように、遊技機を設置する島設備もまた、大きな変革の時を迎えたのは周知の通りだろう。こうした流れの中で現在、多くのホールで導入が進むのが、スマパチ⇄スマスロを自由自在に切り替えることが可能となる「スマート遊技機互換島」だ。

スマパチ⇄スマスロ柔軟な切替を実現

京楽が手掛ける『FLEXIBLE(フレキシブル)』は、その名の通り、その時々の方勢やトレンド、営業戦略に合わせてフレキシブルにスマパチ⇄スマスロを切り替えることができる互換島システム。そのリリースは、スマート遊技機が登場して間もない2022年と業界最速で、業界内でも話題となったスマート専門店

にも導入されるなど、スマート遊技機市場の未来の可能性をいち早く切り拓いた製品である。スマパチ、スマスロが同サイズでユニット化されているため、切り替え時はアタッチメントを組み替えるだけの簡単作業で完了。スマートユニットの脱着も不要だ。加えて紙幣搬送システムの高さも統一されているため、搬送ラインの調整工事も不要。この手軽でシンプルな構造が好評を博している。

特許取得の椅子ベースプレートで楽々調整

スマパチ⇄スマスロ切り替えが簡易作業で行える点は前述の通りだが、パチンコとパチスロでは遊技台の奥行が異なるため、遊技椅子の位置調整が必要となる。通常、多くの店舗では床面にアンカーを打ち込んで遊技椅

《グランドDAMZ県央店》FLEXIBLE 導入レポート



《グランドDAMZ県央店》
新潟県燕市井土巻土手外1793-1
総台数：967台（P558台、S409台）

**将来的な戦略変更に伴い
互換島の設置比率を増加**

新潟県で18店舗を展開する株式会社第一実業（DAMZグループ）。同社が旗艦店と位置付ける《グランドDAMZ県央店》では、京楽のスマート遊技機互換島『FLEXIBLE』を導入している。

「当店では昨年8月に初めて導入しました。当時はパチスロ優勢の市場環境でしたのでパチスロ

増台を検討する中で、スペースの関係上、パチスロエリアを増台する余地がなかったため、パチンコエリアに『FLEXIBLE』を導入することで実現しました」と話すのは、同社営業部の坂牧雅巳課長代理だ。

そんな同店では今年5月に同製品の増設を実施。これにより互換島の設置台数は54台から90台に拡大した。その狙いについて、岡庭武史エリア長は次のように話す。

「将来的な戦略変更の際にフレキシブルに対応していく、という点に尽きます。今でこそパチスロで運用していますが、新潟は辛いパチンコの売上がまだ見込めるエリアでもあります。今後、パチンコがどのように変化し、どのような評価を受けるかは未知数ですが、パチンコの機運が高まったタイミングを逃さず、

すぐさま攻勢に出られる準備を万全にしました」。

また、『FLEXIBLE』の導入に合わせて快適な遊技環境にもこだわった。1列あたりの設置台数を間引くことで、台間を広げゆったりと遊技できるように配慮。さらに、飲み物やスマホ、（加熱式）タバコなどを置ける小棚についても、安心して利用できるようにカスタマイズした。

「旗艦店である以上、遊技環境・機種構成はお客様のニーズに適したものを提供する義務があります。『FLEXIBLE』を最大限に活用して、どんな時代においても影響力のある店舗であり続けたいと考えています」と坂牧課長代理は力強く語る。

互換島の増設で攻勢に転じる準備万端

《グランドDAMZ県央店》では今年5月に『FLEXIBLE』を増設。全90台の互換島で、あらゆるニーズにも対応できる環境を整備した。



『FLEXIBLE』は現在、5円パチスロをメイン（一部、4円パチンコ）として運用中。導入にあたり台間を広くし、快適に遊技出来る環境も創出した。

《M'sガーデン》FLEXIBLE 導入レポート



（写真上）現在、1,000円46枚パチスロとして運用している『FLEXIBLE』島。パチンココーナーと隣接しており、情勢に合わせていつでもスマパチへ切り替えることができる。（写真左）遊技客の要望に応じて、ユニット下部に小棚を後付け設置した。導入後に拡張性がある点も鶴谷店長は評価する。



**ニーズに即応できる
臨機応変さが魅力**

沖縄県で3店舗を展開するエムズモノコグループ。その中のひとつ《M'sガーデン》は、2024年の年間稼働率ナンバーワンを獲得した高稼働店として有名だ。そんな同店では今年6月、スマート遊技機互換島

『FLEXIBLE』を導入した。

「現市場を見ても分かる通り、パチンコの元気がなくなっている一方、パチスロ（スマスロ）は良い状況が続いています。しかし、純粹なPS変換工事によるパチスロ増台ではなく、その先にあるパチンコの将来性を考慮し、『FLEXIBLE』を導入しました」と話すのは同店の陣頭指揮を執る鶴谷淳店長だ。

現在、『FLEXIBLE』は100円46枚パチスロで運用中。PS設置比率についても、パチンコ約25%、パチスロ約75%とパチスロに重きを置いた営業を行っているが、一部パチンコ機種の人気は上昇中とのことで、今後の情勢次第でさまざまスマスロ↓スマパチに切り替えられる準備を整えた。

今後の活用方法については、「日々、お客様から様々な要望が

寄せられますが、その声を無視せず、一つひとつ検討し、いち早く応えていくことを心掛けています。パチンコの設置比率についても、お客様から多くの要望が寄せられれば、『FLEXIBLE』でフレキシブルに対応していきたいと考えています」と話す。



《M'sガーデン》
沖縄県那覇市東町10-1
総台数：558台（P132台、S426台）



鶴谷淳店長

パチンコの将来性を考慮し互換島を導入

全国屈指の高稼働店で知られる《M'sガーデン》では、将来的なパチンコニーズに備え『FLEXIBLE』を導入した。